

平成29年産 夏秋野菜の需給・価格の実績

〈 目 次 〉

【主要品目】

- ① 夏秋キャベツ P. 2
- ② 夏だいこん P. 4
- ③ たまねぎ P. 6
- ④ 秋にんじん P. 8
- ⑤ 夏はくさい P. 10
- ⑥ 夏秋レタス P. 12

【その他品目（参考）】

- ⑦ きゅうり P. 14
- ⑧ トマト P. 16
- ⑨ ねぎ P. 18

1. 平成29年産夏秋キャベツの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.7.20)での見通し	実績(10月下旬時点)
夏秋キャベツ (7～10月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各産地とも生育は平年並みに回復傾向。7月前半は平年を下回るものの、後半以降は平年を上回る出荷が見込まれる。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今夏の猛暑予想から加熱調理の需要は減少すると考えられる一方で、カットサラダの需要は堅調であると考えられることから、需要は平年並みを見込む。 ● 加工・業務用野菜の在庫が継続して多く、業務筋の引き合いが弱い。 ● 昨秋の価格高騰を受けて、加工業務用野菜の契約価格が値上げ傾向。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月前半は、低温等の影響により出荷は平年を下回る見込みであるものの、加工・業務用野菜の在庫が継続して多く業務筋の引き合いが弱いことから、価格は平年を下回ると見込む。後半以降は、カットサラダの需要は堅調であるものの、出荷は作付面積の微増もあって平年を上回る見込みであることから、価格は平年を下回る見込み。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、主産地である群馬産が、低温、干ばつ傾向による生育遅れがあったものの、6月下旬の降雨と気温の上昇により順調な生育となったことから、入荷量は平年をやや上回った。 ● 8月は、主産地である群馬産が、7月の適度な降雨と気温高により順調な生育となったことから、入荷量は平年をかなりの程度上回った。 ● 9月は、主産地である群馬産が、8月中旬まで曇天、降雨が続いたものの、生育及び品質は概ね良好で、大玉比率が高くなったことから、入荷量は平年をかなり大きく上回った。 ● 10月は、主産地である群馬産が、出荷の終盤を迎える中、好天により大玉比率も高くなったことから、入荷量は平年をかなりの程度上回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (7月～10月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:108%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、平年を大幅に下回った。 ● 8月は、東日本の太平洋側を中心に長雨・日照不足となり、野菜全体として強持ち合いとなったことから、平年をやや上回った。 ● 9月は、平年をかなり大きく下回った。 ● 10月は、平年を大幅に下回った。 ● 期間全体としては、平年をかなり大きく下回った。 (7月～10月の東京都中央卸売市場卸売価格の対平年比:85%)

(参考1) 平成29年産夏秋キャベツの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

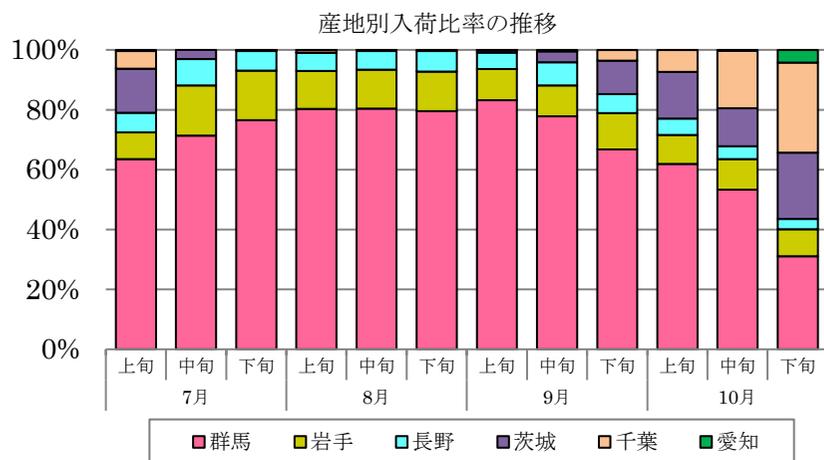
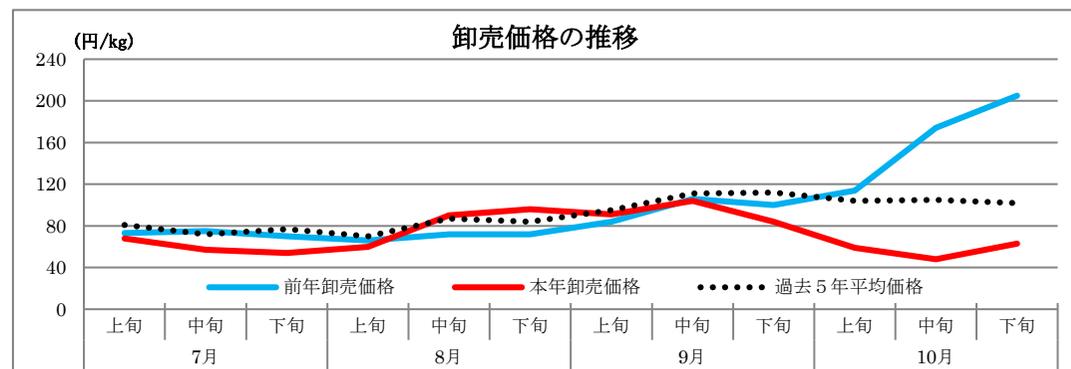
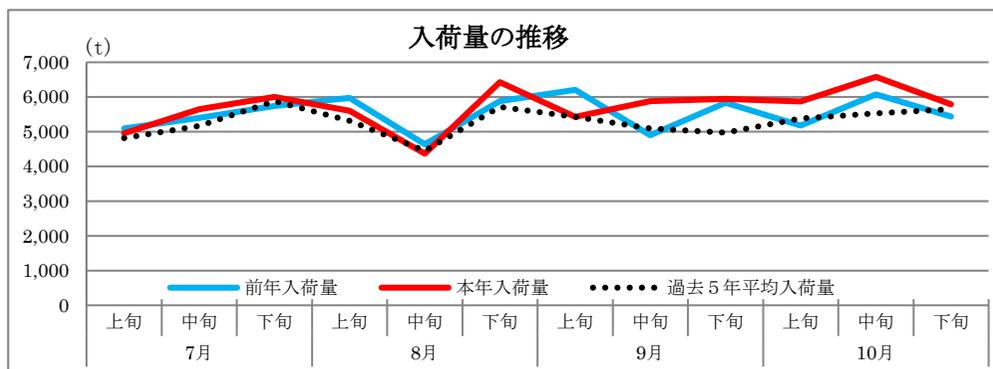
入荷量対比 (%)

	7月			8月			9月			10月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	97	105	105	94	94	109	88	120	102	114	108	107	103
	102			99			102			109			
過去5年平均比	103	109	102	105	98	112	100	115	120	109	119	103	108
	105			106			111			110			

卸売価格対比 (%)

	7月			8月			9月			10月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	93	76	77	91	125	133	108	98	84	52	28	31	74
	81			117			97			34			
過去5年平均比	84	79	70	86	103	114	96	94	75	57	46	62	85
	77			103			88			54			

(参考2) 平成29年産夏秋キャベツの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

2. 平成29年産夏だいこんの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.7.20)での見通し	実績(10月下旬時点)
夏だいこん (7～9月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 台風や降雨等の影響もなく、安定した出荷が見込まれる。7月～9月の各月とも平年を上回る出荷が見込まれる。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夏場は消費の減退期であり、売場も1本売りは小さく、1/2カットが大半を占めている。 ● 一方、和風ドレッシングを使った定番だいこんサラダが近年定着してきており、カットサラダが堅調なことから需要は平年並みを見込む。 ● 北海道及び青森においては、人手不足と運賃が値上がっている状況から、加工・業務用野菜の契約単価が上昇傾向にある。また、昨年の北海道の品薄状況から、契約率を高めているメーカーもある。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月から9月は、カットサラダの需要は堅調であるものの、作付面積が微増であることに加え生育も順調であることから、出荷は平年を上回る見込みであり、価格は平年を下回ると見込む。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、主産地の北海道産及び青森産とも、生育が概ね順調となったことから、入荷量は平年並となった。 ● 8月は、主産地である北海道産が、一部圃場で気温高による病害が散見されたものの、全般的に生育は概ね順調であったことから、入荷量は平年をわずかに上回った。 ● 9月は、主産地の北海道産が生育順調で太物中心の出荷となったものの、青森産が播種期の高温でのまき直しによる生育遅れ等があったことから、入荷量は平年をわずかに下回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに下回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:99%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月から8月は、平年を大幅に下回った。 ● 9月は、業務筋等による引き合いが弱まり、安値基調が続いて平年を大幅に下回った。 ● 期間全体としては、平年を大幅に下回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場卸売価格の対平年比:84%)

(参考1) 平成29年産夏だいこんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

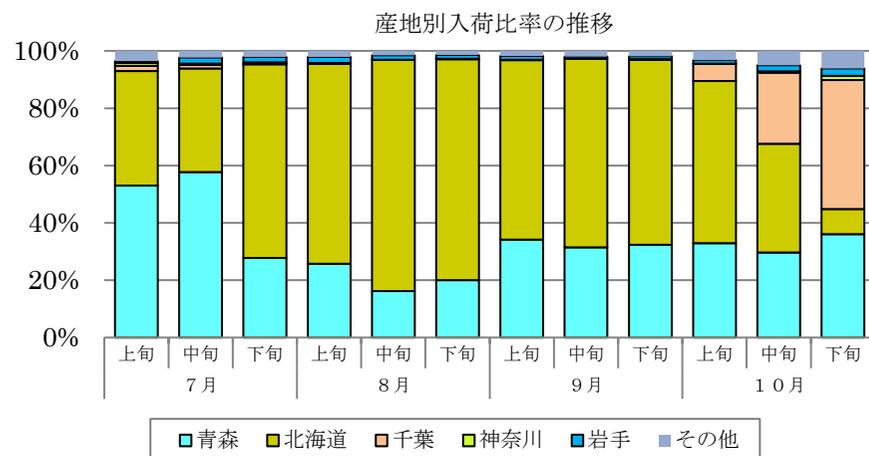
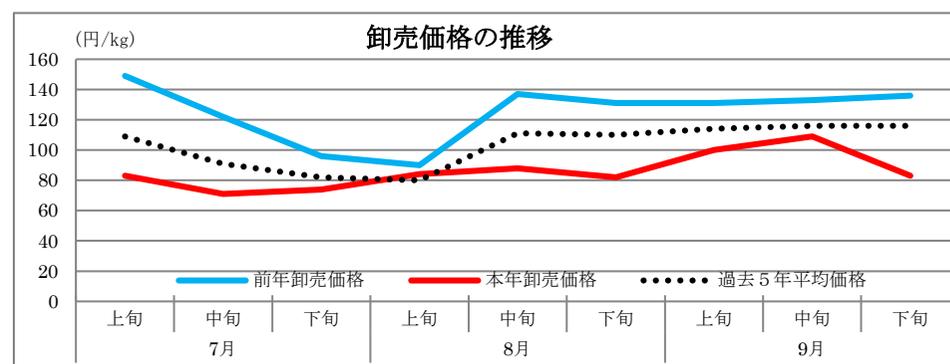
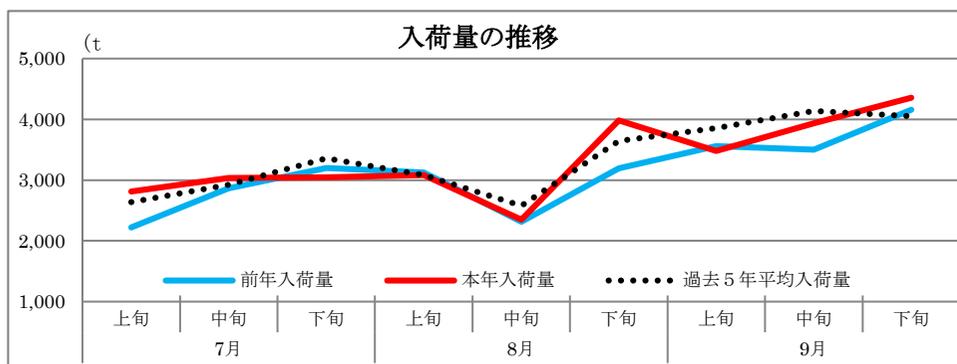
入荷量対比 (%)

	7月			8月			9月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	127	106	95	99	102	125	98	112	105	107
	107			109			105			
過去5年平均比	107	104	91	100	91	109	90	95	108	99
	100			101			98			

卸売価格対比 (%)

	7月			8月			9月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	56	58	77	93	64	63	76	82	61	69
	64			71			72			
過去5年平均比	76	78	90	105	79	75	88	94	72	84
	83			84			84			

(参考2) 平成29年産夏だいこんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

3. 平成29年産たまねぎの需給・価格の実績

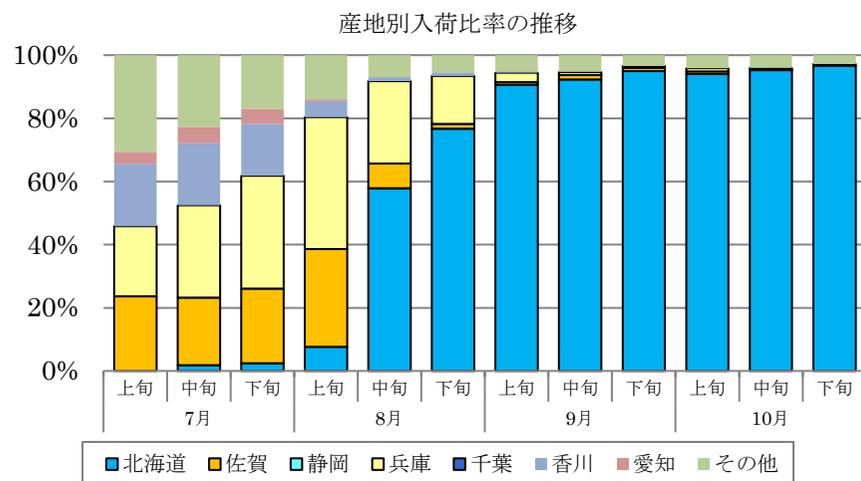
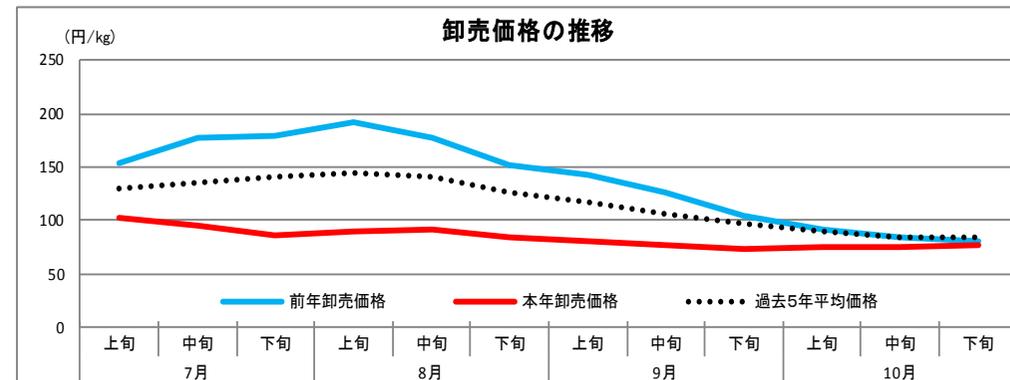
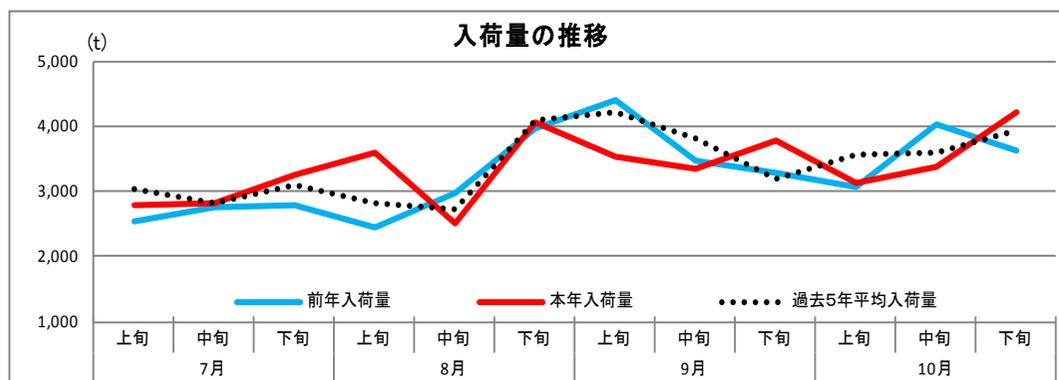
	前回の委員会(29.7.20)での見通し	実績(10月下旬時点)
たまねぎ (7～10月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前年のような病害の発生も少なく、期間を通して安定した出荷が見込まれる。7月～8月は平年を上回り、9月～10月は平年並みの見込み。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● たまねぎの消費量が多い学校給食が夏休みで無いものの、オニオンサラダ(カットサラダ)の需要が伸びており、家庭内の消費頻度が高く堅調であることから、需要は平年並みを見込む。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月及び8月は、カットサラダに需要は堅調であるものの、極早生を増加させたことにより出荷は平年を上回る見込みであることから、価格は平年を下回ると見込む。9月及び10月は、需要は平年並みの見込みに対し、出荷は平年並みの見込みであることから、価格は平年並みと見込む。ただし、猛暑の影響で消費が減退して引きが弱まった場合には、価格は平年を下回る可能性もある。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、主産地である佐賀産が、生育は概ね順調となったものの、作付面積の減少等があったことから、入荷量は平年をわずかに下回った。 ● 8月は、主産地である北海道産が、早生品種の作付面積の増加したことに加え、生育も良好で肥大も進んだことから、入荷量は平年をかなりの程度上回った。 ● 9月は、主産地である北海道産が、一部圃場で多雨による湿害による生育遅延が散見されたことから、入荷量は平年をやや下回った。 ● 10月は、主産地である北海道産が、貯蔵物の計画的な出荷となっており、作柄が平年並み以上となったことから、入荷量は平年をやや下回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに下回った。 (7月～10月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:99%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 豊作基調の中、輸入物の残量が多く、業務筋等による引き合いが弱まり、安値基調が続いたことから、7月及び9月が平年を大幅に下回り、10月は平年をかなりの程度下回った。 ● 8月は、平年を大幅に下回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度下回った。 (7月～10月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:73%)

(参考1) 平成29年産たまねぎの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	入荷量対比 (%)												期間計
	7月			8月			9月			10月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	110	102	117	147	84	102	80	97	115	101	84	116	103
過去5年平均比	92	100	106	128	92	99	84	88	119	88	93	107	
	110			108			96			100			

	卸売価格対比 (%)												期間計
	7月			8月			9月			10月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	66	53	48	47	51	56	56	61	70	83	89	96	48
過去5年平均比	78	70	62	61	65	67	68	72	76	84	89	92	
	55			52			34			48			
	70			65			71			90			

(参考2) 平成29年産たまねぎの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

4. 平成29年産秋にんじんの需給・価格の実績

	前回の委員会(29.7.20)での見通し	実績(10月下旬時点)
秋にんじん (8～10月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作付面積の増加と、生育も平年並みに回復してきたことから、順調な出荷が見込まれる。8～10月の各月とも、平年を上回る出荷となる見通し。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● にんじんの消費量が多い学校給食が夏休みで無く、今夏の猛暑予想から消費量は減少すると考えられるものの、7～8月は、カレー用の消費頻度が高まる時期であることから、需要は平年並みを見込む。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 8月から10月は、需要は平年並みの見込みに対し、作付面積が増加して出荷は平年を上回る見込みであることから、価格は平年を下回ると見込む。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主産地である北海道産が、天候にも恵まれて生育が順調となったことから、入荷量は、8月が平年をかなり大きく上回り、9月は平年を大幅に上回り、10月は平年をやや上回った。 ● 期間全体としては、平年をかなり大きく上回った。 (8月～10月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:111%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 8月から10月は、平年を大幅に下回った。 (8月～10月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:58%)

(参考1) 平成29年産秋にんじんの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

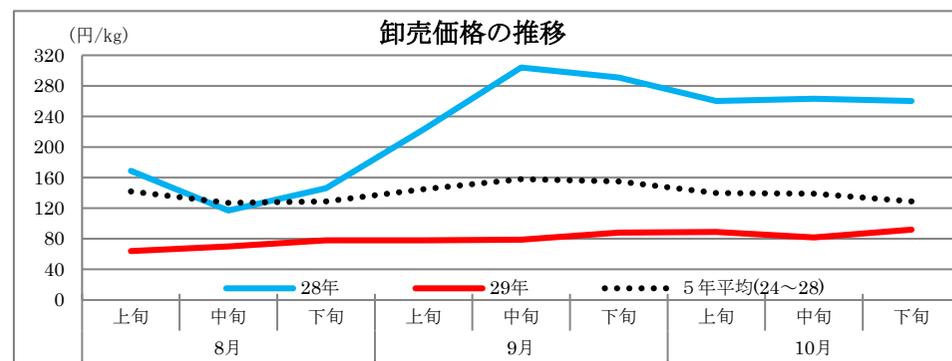
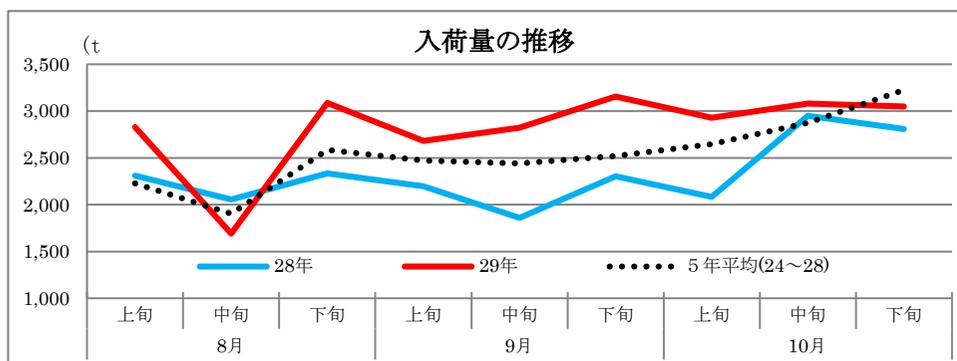
入荷量対比 (%)

	8月			9月			10月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	123	82	132	122	152	137	141	104	109	121
	114			136			116			
過去5年平均比	127	89	119	108	116	125	111	107	95	111
	113			116			104			

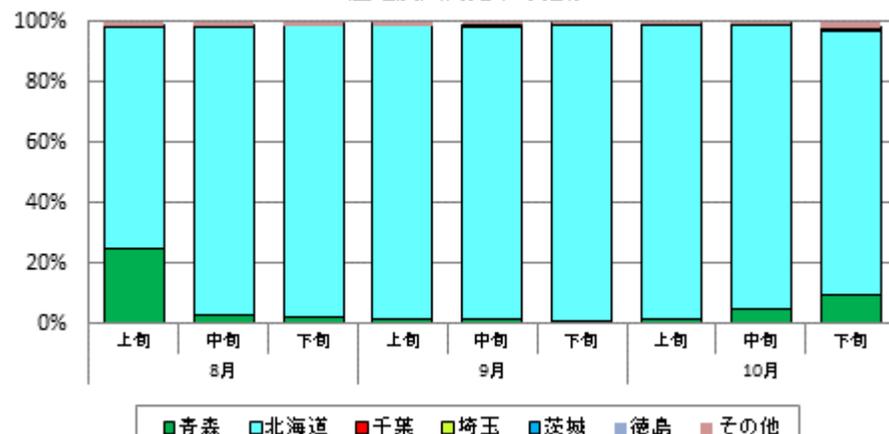
卸売価格対比 (%)

	8月			9月			10月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	38	60	53	35	26	30	34	31	35	36
	49			30			34			
過去5年平均比	45	55	60	54	50	57	64	59	71	58
	53			54			65			

(参考2) 平成29年産秋にんじんの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



産地別入荷比率の推移



資料：東京青果物情報センター

5. 平成29年産夏はくさいの需給・価格の実績

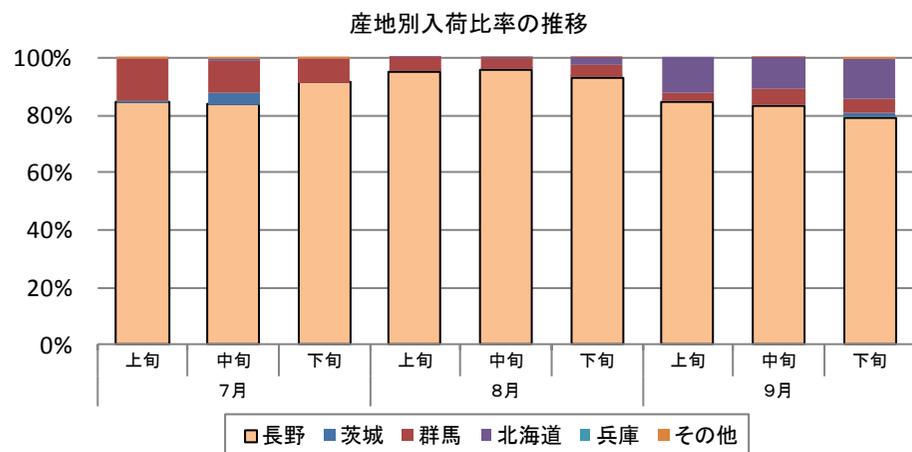
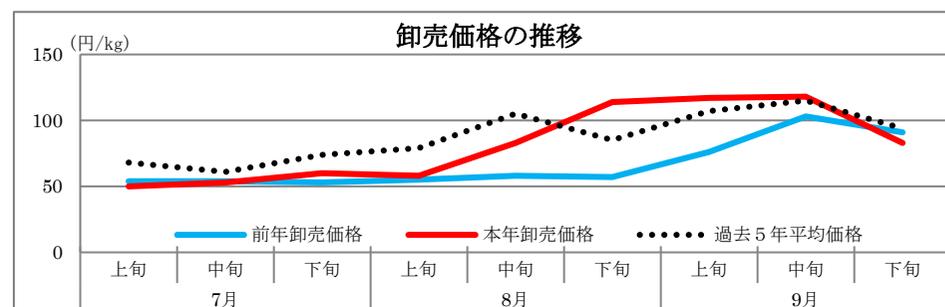
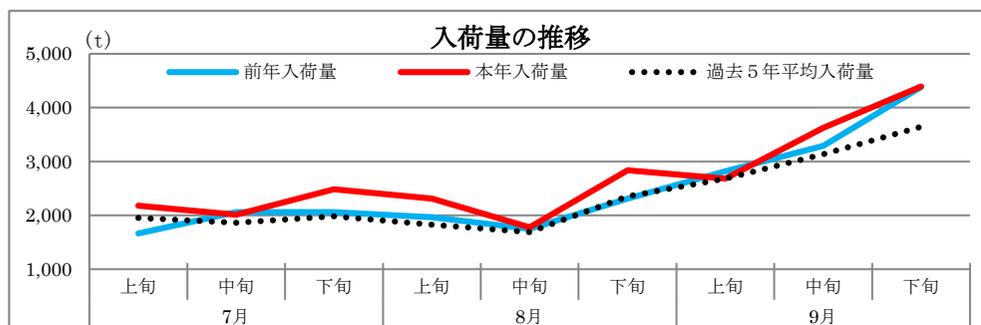
	前回の委員会(29.7.20)での見通し	実績(10月下旬時点)
夏はくさい (7～9月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生育も回復し、安定した出荷が見込まれる。7～9月の各月とも平年を上回る出荷が見込まれる。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 過去に夏場のサラダ用はくさいを何度も繰り返し導入したこともあったが消費は低迷した。夏場は需要期ではなく、9月以降の鍋需要を見込んでいることから、需要は平年並みを見込む。 ● 昨秋の価格高騰の影響により、漬物メーカーの契約率は上昇傾向であることから、市場での引き合いは弱まる見込み。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月及び8月は、需要期ではない中で、生育が進み出荷は平年を上回る見込みであることから、価格は平年を下回ると見込む。9月は、出荷は平年を上回る見込みであるものの、価格は鍋需要が見込まれることから平年並みを見込む。ただし、高温が続いた場合には平年を下回る可能性もある。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 主産地である長野産が、天候に恵まれて生育は順調となったことから、入荷量は、7月及び9月が平年をかなり大きく上回り、8月は平年を大幅に上回った。 ● 期間全体としては、平年をかなり大きく上回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:115%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、平年を大幅に下回った。 ● 8月及び9月は、平年をわずかに下回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度下回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:94%)

(参考1) 平成29年産夏はくさいの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	7月			8月			9月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	131	98	121	118	102	123	95	110	100	109
	115			115			102			
過去5年平均比	112	108	126	127	105	121	100	116	121	115
	115			118			113			

	7月			8月			9月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	93	98	113	105	143	200	154	115	91	118
	102			153			113			
過去5年平均比	74	87	81	73	79	134	109	103	88	94
	81			98			98			

(参考2) 平成29年産夏はくさいの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

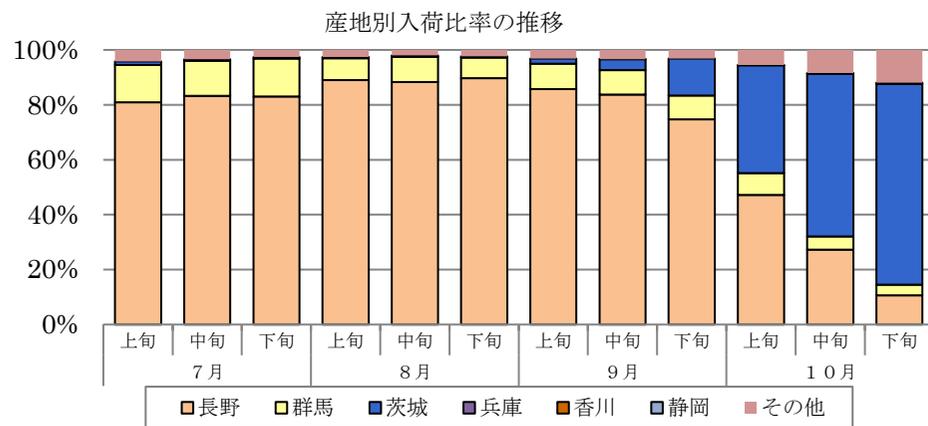
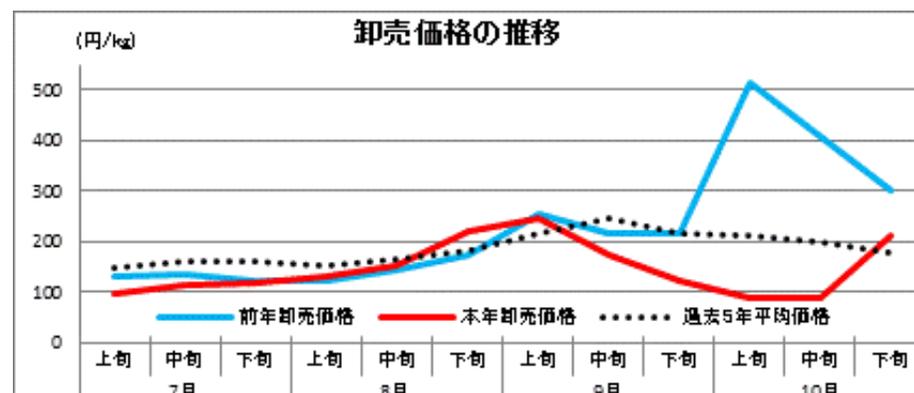
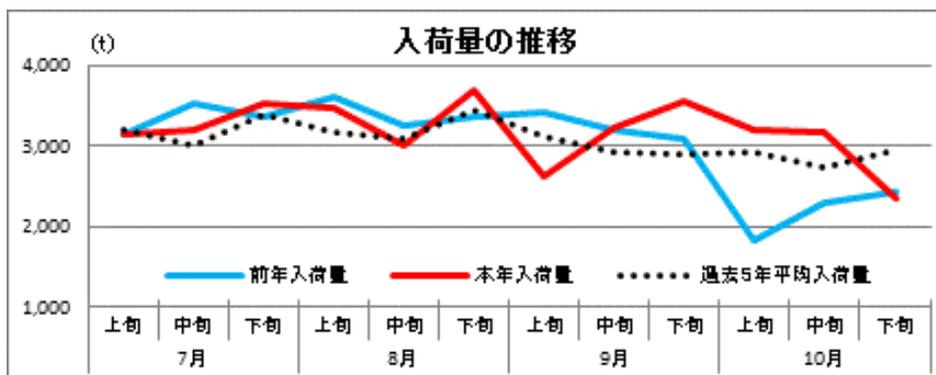
6. 平成29年産の夏秋レタス需給・価格の実績

	前回の委員会(29.7.20)での見通し	実績(10月下旬時点)
夏秋レタス (7～10月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 潤沢な出荷が見込まれ、出荷量は、各月とも平年を上回る見通し。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今夏の猛暑予想もあり、夏場のサラダ需要は継続すると考えられることから、需要は平年並みを見込む。 ● 現在はレタスの相場が安いので、使い切りのカット野菜よりも、冷蔵庫で保管しながら消費できる原体の需要が堅調。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月及び10月は、需要は平年並みの見込みに対し、生育が順調であり出荷は平年を上回る見込みであることから、価格は平年を下回ると見込む。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、主産地である群馬産が、天候にも恵まれて生育が前進し、前倒し出荷となったことから、入荷量は平年をやや上回った。 ● 8月は、主産地である長野産が、7月下旬の降雨で干ばつ傾向から回復し、生育は概ね順調となったことから、入荷量は平年をやや上回った。 ● 9月は、主産地である長野産が、8月の曇天、長雨の影響は軽微で、生育は概ね順調となったことから、入荷量は平年をやや上回った。 ● 10月は、主産地である茨城産が、天候にも恵まれて生育は順調となったことから、入荷量は平年をわずかに上回った。 ● 期間全体としては、平年をやや上回った。 (7月～10月の東京都中央卸売市場入荷量の対平年比:103%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、平年を大幅に下回った。 ● 8月は、東日本の太平洋側を中心に長雨・日照不足となり、野菜全体として強持ち合いとなったことから、平年をわずかに上回った。 ● 9月及び10月は、平年を大幅に下回った。 ● 期間全体としては、平年を大幅に下回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:78%)

(参考1) 平成29年産夏秋レタスの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比 (%)													卸売価格対比 (%)														
	7月			8月			9月			10月			期間計		7月			8月			9月			10月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	101	91	105	96	92	110	77	101	116	175	138	96	105	前年比	74	84	97	107	105	127	97	80	57	18	22	70	69
	98			99			97			133					85			116			76			31			
過去5年平均比	99	106	104	109	97	108	84	109	123	109	116	79	103	過去5年平均比	65	71	75	86	93	121	114	71	57	43	45	120	78
	103			105			105			101					71			102			78			63			

(参考2) 平成29年産夏秋レタスの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

7. その他品目の需給・価格の実績

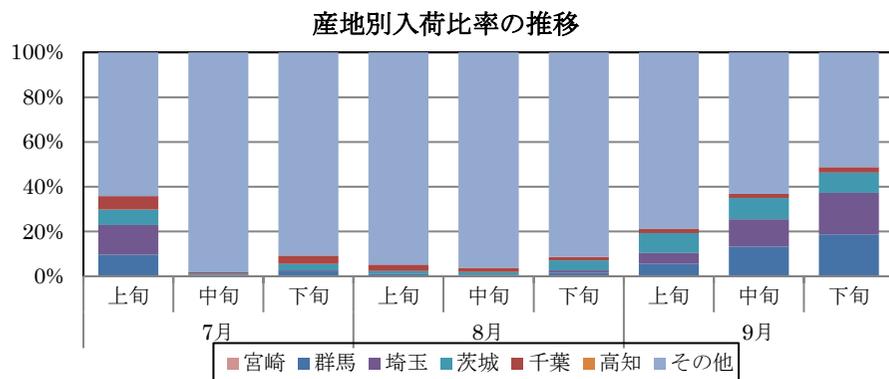
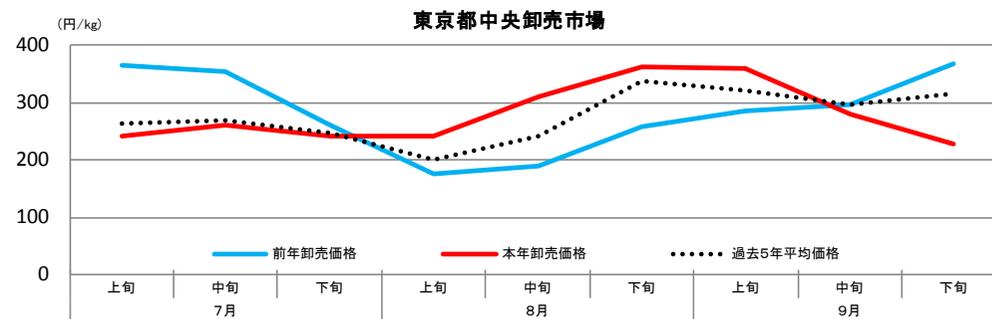
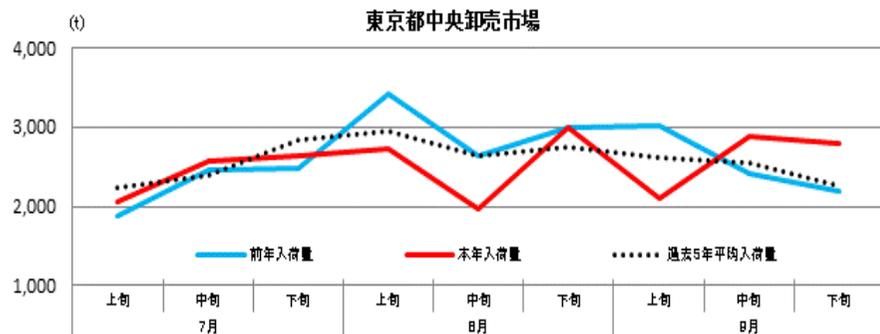
	前回の委員会(29.7.20)での見通し	実績(10月下旬時点)
きゅうり (7～9月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作型が変わる8月は概ね平年並みの出荷で、それ以外の月は平年を上回る出荷が見込まれる。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今夏の猛暑予想もあり、夏場のサラダ需要、漬物需要は継続すると考えられることから、需要は平年並みを見込む。 ● 今後は加熱商材の浸透によっては微増の可能性はある。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 8月以外は、需要は平年並みの見込みに対し、出荷は平年を上回る見込みであることから、価格は平年を下回ると見込む。8月は、作型の切替りに伴い出荷は平年並みの見込であることから、価格は平年並みを見込む。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、主産地である福島産が、6月の天候不順による生育の遅れがあったことから、入荷量は平年をやや下回った。 ● 8月は、主産地である福島産が、日照不足による生育遅れに加え、病害も若干散見されたことから、入荷量は平年をかなりの程度下回った。 ● 9月は、主産地である群馬産が、生育が概ね順調となったことから、入荷量は平年をやや上回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに下回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:98%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平年をやや下回った。 ● 8月は、平年を大幅に上回った。 ● 9月は、平年をかなりの程度下回った。 ● 期間全体としては、平年をわずかに上回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:101%)

(参考1) 平成29年産きゅうりの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

	入荷量対比 (%)									期間計
	7月			8月			9月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	110	104	106	80	75	100	69	120	128	97
過去5年平均比	92	107	93	92	75	109	80	113	124	
	106			85			102			

	卸売価格対比 (%)									期間計
	7月			8月			9月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	66	74	92	137	162	140	125	94	62	101
過去5年平均比	91	97	98	120	129	107	112	95	72	
	77			147			90			
	96			118			91			

(参考2) 平成29年産きゅうりの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

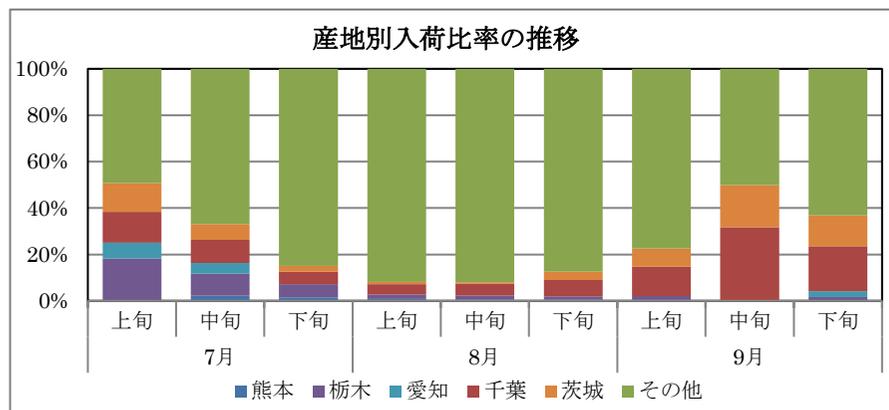
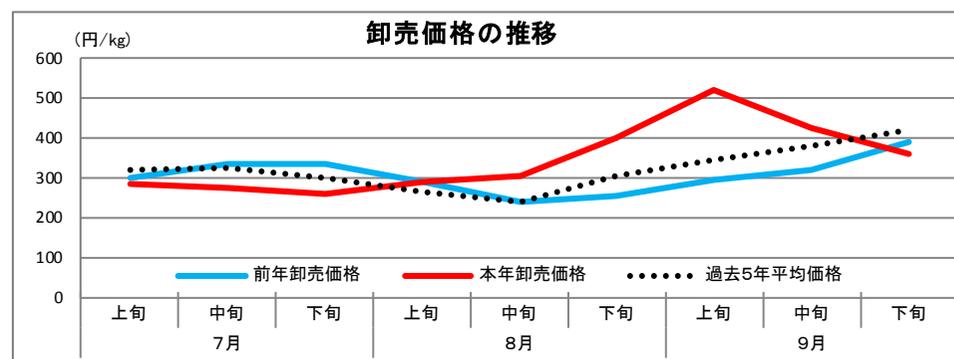
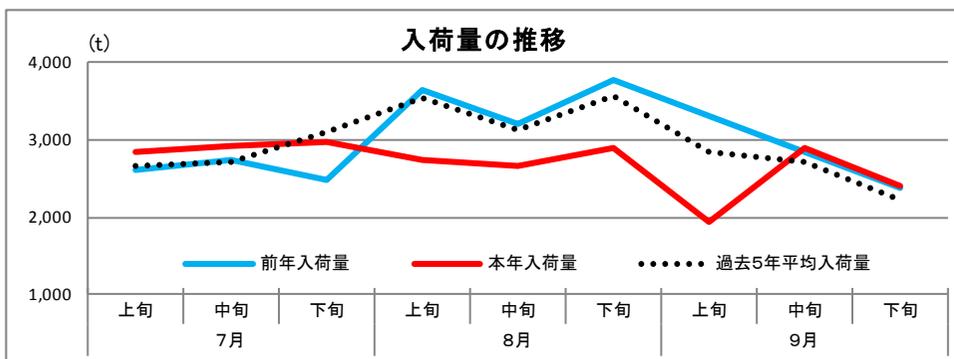
8. その他品目の需給・価格の実績

	前回の委員会(29.7.20)での見通し	実績(10月下旬時点)
<p>トマト (7～9月)</p>	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作型が変わる9月は平年並みを下回る見込みだが、それ以外の月は平年を上回る出荷が見込まれる。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今夏の猛暑予想もあり、夏場のサラダ需要は継続すると考えられることから、需要は平年並みを見込む。 ● 現在トマト相場が安いため高リコピン、フルーツ系トマトなど付加価値の高い商材の価格が下がっており需要増の可能性はある。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 9月以外は、需要は平年並みの見込みに対し、生育は順調であり出荷は平年を上回る見込みであることから、価格は平年を下回ると見込む。9月は、作型が切替ることに伴い出荷は平年を下回る見込みであることから、価格は平年を上回ると見込む。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、主産地である青森産が、6月の日照不足により遅れていた生育が、気温の上昇とともに回復し、概ね順調となったことから、入荷量は平年をやや上回った。 ● 8月は、主産地である福島産及び青森産が、曇天、降雨による生育遅れにより、小玉傾向や着色の遅れが見られたことから、入荷量は平年を大幅に下回った。 ● 9月は、主産地である福島産及び青森産が、8月の曇天、降雨により生育遅れが発生したことから、入荷量は平年をかなりの程度下回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:92%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、平年をかなり大きく下回った。 ● 8月は、平年を大幅に上回った。 ● 9月は、平年をかなり大きく上回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:107%)

(参考1) 平成29年産トマトの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

入荷量対比 (%)										卸売価格対比 (%)											
	7月			8月			9月			期間計		7月			8月			9月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	109	107	119	75	83	76	59	101	101	90	前年比	95	82	78	100	128	156	176	133	93	113
	111			78			85					84			127			130			
過去5年平均比	106	108	95	78	85	81	68	107	108	92	過去5年平均比	90	84	86	110	126	132	150	113	85	107
	103			81			93					87			123			113			

(参考2) 平成29年産トマトの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター

9. その他品目の需給・価格の実績

	前回の委員会(29.7.20)での見通し	実績(10月下旬時点)
ねぎ (7～9月)	<p>(供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各月とも概ね平年並みの出荷が見込まれる。ただし、豪雨被害を受けた福岡については今後の出荷への影響が出る可能性がある。 <p>(需要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今夏の猛暑予想から加熱商材としての白ねぎの需要は減少するものの、薬味用のカットねぎは使い勝手が良く、冷凍して保存も効くので需要が伸びていることから、需要は平年並みを見込む。 <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月から9月は、需要は平年並みの見込みの中で、出荷は概ね平年並みの見込みであることから、価格は平年並みを見込む。ただし、豪雨の被害を受けた影響が出た場合には、価格は平年を上回る可能性。 	<p>(入荷量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、主産地である茨城産が、降雨が少なく細物が多かったことから、入荷量は平年をやや下回った。 ● 8月は、主産地である青森産が、曇天および低温による生育遅れがあったことから、入荷量は平年をかなりの程度下回った。 ● 9月は、主産地である青森産が、生育が概ね順調であったことから、入荷量は平年をやや上回った。 ● 期間全体としては、平年をやや下回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比:97%) <p>(価格)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 7月は、平年並になった。 ● 8月は、平年を大幅に上回った。 ● 9月は、業務筋等による引き合いが強まったことから、平年をやや上回った。 ● 期間全体としては、平年をかなりの程度上回った。 (7月～9月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比:106%)

(参考1) 平成29年産ねぎの入荷量と卸売価格の前年・過去5年平均比 (前年・過去5年平均をそれぞれ100とした場合の指数、東京都中央卸売市場)

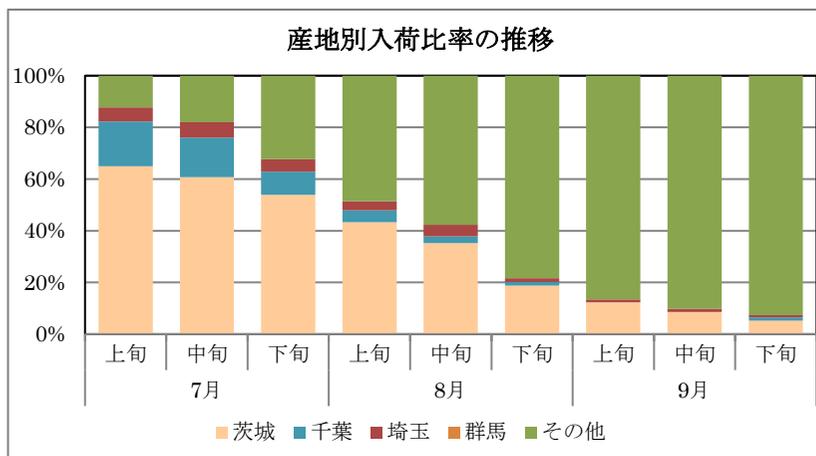
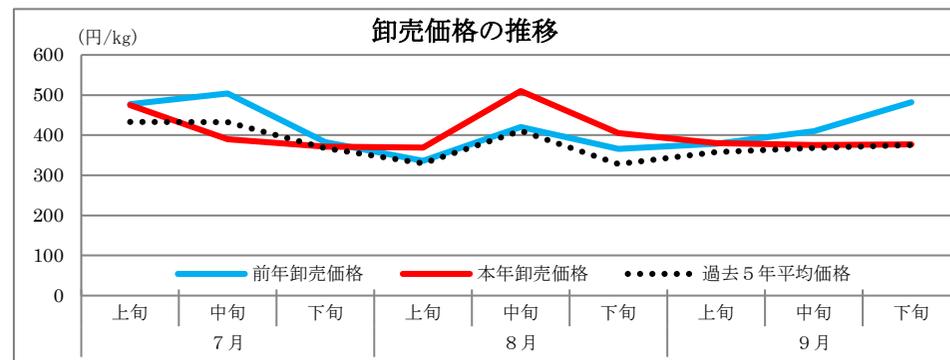
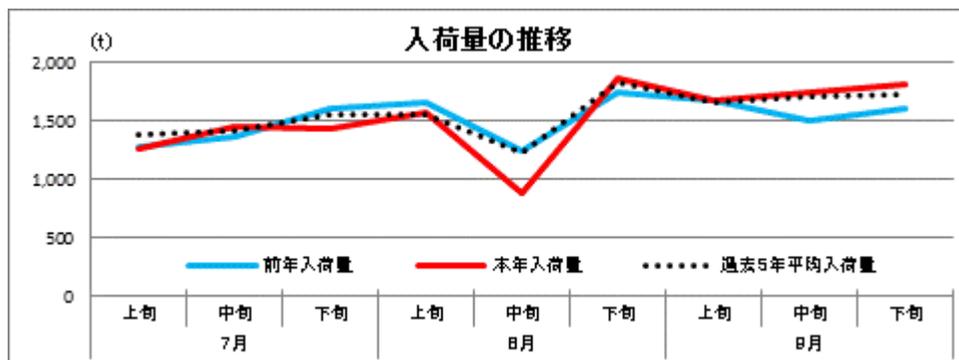
入荷量対比 (%)

	7月			8月			9月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	99	106	89	95	70	108	101	117	112	100
	97			93			109			
過去5年平均比	91	102	92	100	71	102	102	102	105	97
	95			93			103			

卸売価格対比 (%)

	7月			8月			9月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
前年比	100	77	97	110	121	111	100	91	78	96
	91			112			89			
過去5年平均比	110	90	101	112	124	123	106	102	101	106
	100			118			103			

(参考2) 平成29年産ねぎの入荷量・産地別入荷比率と卸売価格の推移 (東京都中央卸売市場)



資料：東京青果物情報センター